八丈島と人を「つなぐ」移住定住のための会報誌

八丈島ぐらし通信 15

2022年11月発行

今月の話題

おめえはあにしに八丈へ？②

八丈島ってどんな島？

歴史が深い島

11月の歳時記　小学校の運動会

運動会と聞くと「ヨーイ・ドン！」と、どこへでも観に行く。われは運動神経がにぶくて後ろの方へ走っている。そんなわれは人の走る姿を見るのが楽しい！素敵！すごーい！知ってる子や人がいるとボーケ(大きな)声で応援する。まだ現役だった頃を忘れないのだ。われが20代(60年前)の三小は児童が600人位もいて、4色に分かれていた。全学年の親子競技があり、表現があった。今も地域の150才リレーがあり、地域旗を持って選手と一緒に走る地域の人の応援団！夜の地域の宴会がまた楽しい！父兄、じいちゃん、ばあちゃん達と反省会をしながら飲んだりかんだり歌ったり。まん(今)も続いたって嬉しい。まんからも続くとよっきゃのー。　（元小学校教師　川上絢子）

今月の島ごはん　「いそざきえん」芋つきの肉味噌巾着

【芋つき】
① 里芋の皮をむき、柔らかくなるまで塩茹でする。
② お湯を切り、ボウルに移してマッシャーで潰す。
③ 塩少々、砂糖少々で調味する。
④ 明日葉を茹でて絞り細かくカットしてから里芋に混ぜる。
酒盗（鰹の塩辛）をつけて食べる。

【肉味噌巾着】
豚ひき肉、おろし生姜、おろしにんにくを油で炒め、砂糖、味噌、酒、みりん、コチュジャンを加えて炒りつけ、肉味噌を作る。
芋つきで肉味噌を包み、ラップで絞って巾着を作る。

自然の中で動物と暮らしたい

動物が大好きで、犬1匹と猫3匹を飼っています。自然の中で動物と暮らしたいと思い八丈島に移住しました。それまで都心に住んでいて、家賃は1Kで15万円でした。家賃を払うために働いていたと言っても過言ではありません。来島したとき知り合った方にお借りした古い家は4LDKで家賃3万円。庭と畑と駐車場付きです。ついでにネズミとアリも付いてきましたが、自由にしていいと言われたのでDIYを楽しんでいます。

麻雀女流プロと動物の仕事

20歳の頃にプロ試験に合格して麻雀女流プロとして仕事をしています。ここ7年間は東京で麻雀店の店長をしていました。女流プロとしてアイドル的な仕事もあり、全国の麻雀店のイベントに呼ばれたり、テレビやCS、アベマの仕事もあります。麻雀ゲームの仕事は島にいてもできるので、プロを続けながら今後は動物関係の仕事もしたいと思っています。

保護猫活動に繋がる起業

八丈島へ来たら病気がちの野良猫をたくさん見るので、どうしたらいいか考えるようになりました。猫カフェや猫のいる宿など、保護猫活動に繋がる起業をしたいと思うようになりました。東京に保護猫団体の知り合いがいるので相談しながら物件を探しています。八丈島の魅力、移住生活の良さ、猫活のことを伝えたいので、YouTubeを始めます。八丈島ブログも書いてるのでぜひ読んでいただきたいです!

自由度が高い暮らし

八丈島での暮らしは不便なことも特になく、自然豊かで、猫たちも広い家でのびのび暮らせて幸せそうです。気持ちにゆとりができました。自分で育てたハーブを使いソーセージを作ったりすることが楽しいです!釣りと銛突きを始めました。いつか小型船舶免許も取りたいです。島の暮らしは自由度が高く、やりたいことが多くて飽きることがありません。

■blog『麻雀プロ八丈島物語』 https://chibooop.com/

青ヶ島を知るために八丈島移住

コロナが認知され始めた頃に、仕事で青ヶ島へ行く友人から「一緒に行ってみない?」と誘われ行くことにしました。ドキュメンタリー監督として日本各地を訪れていたので、青ヶ島も見てみたい気持ちでした。東京都生まれなのに青ヶ島のことは何も知らず、滞在する間に島の人達と知り合って、青ヶ島の現状と郷土芸能やシャーマン、噴火と還住の歴史などを知り興味を持ちました。もっと青ヶ島へ通って深く知りたいと思ったのが八丈島へ移住したきっかけです。

ドキュメンタリーの魅力

20代前半に映画の専門学校へ行き、映像制作プロダクションでテレビの映像の仕事をしていました。その後、自分の映画を撮りたいと思い、劇場公開のドキュメンタリー映画「廻り神楽」を制作しました。ドキュメンタリーを撮るのは、生身の人間にカメラを向けて魂を探り出し定着させたい気持ちがあるからです。そこに人生の喜びを感じています。

青ヶ島の映画を撮る

青ヶ島の火山の噴火の歴史に惹かれるのは、「廻り神楽」が東日本大震災と岩手県三陸沿岸の神楽集団の話なので、100年に一度巨大な津波がくる土地に人が住む意味と願いや祈り、自分の場所を持つ意味、先祖が生まれて死んだ土地にいることが供養になる考え方など、日本人が持つそのような感覚を連続して探れるのではないかと思ったからです。青ヶ島の映画は企画が固まり、資金の目処がつけば撮り始めます。

伊豆諸島に映画の文化を広めたい

八丈島では古い映像を掘り起こした現代アートの作品を制作したいと考えています。八丈島を拠点として、伊豆諸島に映画の文化を普及させる「伊豆諸島シネマセンター」を立ち上げました。映画の上映会とトークイベント、昔の映像の発掘と勉強会、映像を使ったワークショップ、野外上映、他団体とのコラボイベントなどを構想中です。

■伊豆諸島シネマセンター https://izucinema.com/

八丈島ってどんな島!?
歴史が深い島

八丈島は小さな島ですが、長い歴史を持っています。奄美・沖縄・小笠原以外では、他例のない、黒潮の南にある島で行きづまりの島という特異性のため、他地域にない珍しいものが多く残ります。今回、島の歴史・文化ということで、３人の人物に焦点をあててみました。大迫宇吉などは、彼が活躍した時代だったら島の有名人だったでしょうが、現在では初めて聞く方もいるかも知れません。スペースがないので、３人についての、特に、ここ数年の間に新たに分かったことに視点をあてて取り上げてみました。

関ケ原合戦の西軍の総大将（流人第1号）
宇喜多 秀家

生没年　：元亀３(1572)～明暦元(1655)
出身　：岡山市。岡山城が居城
八丈住居地：大賀郷２２１９番地

秀家は、江戸時代流人の第一号で有名な人。彼が八丈で書いた和歌をオークションで板橋区の資料館が買った。「歌の情景が八丈にあっていますか」との問いあわせ。全くあっていない。実は平安時代の「更級日記」に出て来る「姥捨て（老婆を山に捨てる話）」を詠んだ歌、「わが心なぐさめかねつさらしなやをば捨て山に照る月を見て」。島の情景ではないが、島流しの秀家の境遇や心情にはぴったりの歌。

秀吉の養子としての絶頂の立場から一転して漂泊の身。絶海の孤島で、記憶に残していた古歌をしたためるとは、並の武人ではない。優秀な文化人だったのである。

鳥島・南大東島を開拓した偉丈夫
玉置 半右衛門

生没年　：天保９(1838)～明治43(1910)
出身　：大賀郷１１番地(大賀郷小学校体育館の道反対側)
東京住居地：京橋区山下町

彼は、幕末・明治初期の小笠原開発に関わり、鳥島・南大東島の開拓に成功した人。鳥島ではアホウドリの羽毛を欧米に売って大儲けし、日本有数の長者になった。南大東島は玉置村と言われ、学校や医院を私設し、金券も発行して玉置王国を築いた。

彼は、文字は読み書きはできなかったというが、明治13年の自由民権家・松沢求策の同志として島の改革に立ち上がり、挫折して島を追われた。明治末に島内の学校に多額の寄付をし、国から表彰されているが、島の学校の記録には全く残っていない。生家の所在は伝わらず、最近やっと判明したばかり。

乳量世界一の牛を生み出した獣医
大迫 宇吉

生没年　：明治17(1884)～昭和40年代?
出身　：鹿児島県(詳細不明)
八丈住居地：八丈農協の奥にあった森永乳牛工場の一角ではないか

八丈島は、江戸時代には家数より牛の数が多く、農耕、運搬、堆肥づくり、牛角力などで使われていたが、食用は禁止で、発覚すると小島流罪などになった。文明開化で明治11年に島でも牛を食べたという話があり、明治13年には末吉水海山に洋牛牧場が開かれた。

大迫宇吉は、獣医として国から派遣され、島民から信頼され、乳量世界一の牛や全国品評会で１～３位を独占するなどの偉業を成し遂げ、後に森永乳業の副社長になった。彼の自記録によれば、乳量検定の時は、乳が出るよう餌も特別なものでかなり危険が伴うものであったという。

八丈町教育委員会　林薫

移住協 活動報告 3

副代表理事
持丸 沙代子

移住協で掲げる３つのスローガンが決定しました！

この度移住協では、八丈島の抱える様々な課題を解決するために、協議会の方針を明確にするスローガンを作成いたしました。

八丈島の自然と文化を次世代へ繋ぎ、島に利益を還元し、人と人が交わる島にしようとの想いが込められています。

●みんな豊かに(経済)

人口減解消のためには、八丈島での暮らしが豊かでなければ成り立ちません。移住定住促進のためには観光の発展をはじめとした経済活性化がたいせつです。

●自然を愛そう(SDGs)

八丈島の豊かな自然は、島にとってかけがえのない財産です。経済発展と自然環境の保護を両立していくことがたいせつです。

●文化を守ろう(文化)

古くから島民とともに育まれてきた八丈島の文化。島民と移住者が交わりながら、伝統をこれからも育み続けていくことがたいせつです。

移住のチョーダ by Hasne

移住６年目在宅ワーカーの島暮らしエッセイまんが

今月のイベント！

発行元・文責 NPO法人八丈島移住定住促進協議会　企画・編集：畑中 由子　デザイン：ハスネWebDesign

TEL 070-8310-7405（営業時間 10 時～ 18 時）　MAIL 8joiju@gmail.com

ADDRESS 東京都八丈島八丈町三根 4906-3（みんなのひみつ基地内）　URL https://hachijoiju.com/